

事務事業評価シート

事業種別	継続	補助	事業類型	施設の管理・運営	1次評価のみ対象分
コード	名称		区分	コード	名称
事業名	370	地域交流促進事業経費	会計	01	一般会計
基本施策	39	部落差別の解消に向け、同和行政を推し進める	款	03	民生費
施策	3	隣保館の充実	項	03	同和行政総務費
			目	02	隣保館費
			細目	102	隣保館管理経費
			細々目	01	地域交流促進事業経費
基本計画該当頁	151	担当部課	コード	70400	評価者
行革大綱の重点事項番号		名称		人権政策部八幡町市民館	氏名
				安永 幸二	連絡先
					23 - 3157 (内線)

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	館対象地区住民及び周辺地区住民 (対象件数)	地区住民の生活支援と自立促進を推進するとともに、周辺地区住民との交流促進が図れる
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
		伊賀市隣保館条例
本年度事業内容	八幡町市民館の休日開放(土曜日)し、健康器具ヘルストロンの利活用を図る。 隣保館運営費補助事業の実施(地域交流促進事業)	状況変化等 年間を通して休日も開館して、電磁治療器具(ヘルストロン)の利用解放及び教室講座を開設して、地域住民の要望に応えた。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	()
2 配置(予定)人員	6 人
3 年間運営費	431 千円
4 市内の類似施設	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
教室講座等の開催	回	目標	25	30	30
		実績	20	27	
ヘルストロンの利用者数	人	目標	2600	2600	2600
		実績	2624	2590	
		目標			
		実績			
		目標			
		実績			

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
教室講座への参加者数		人	目標	65	100	120
			実績	59	99	
			目標			
			実績			

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	館の開放と健康管理を目的として設置した電磁治療器具については、特に連続した利用が望まれており、土曜日を開館することにより、その住民ニーズに添っている。
有効性	4	電磁治療器具の部屋には、血圧や病気にする資料を用意して健康への関心を高めており、血圧も自分のデーターを記録して自主管理をしている。
達成度	4	教室講座は予定どおり実施できたが、ヘルストロンは利用者が減ったため、再度啓発をしていきたい。
効率性	4	補助事業でもあるので、教室講座については、自主サークル化を図っていきたい。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	土曜日の開館については、関係団体等とも協議のうえ、引き続き効率的な運営に努めていきたい。

年度	進捗状況	平成17年度 決算内容				平成18年度 決算内容				平成19年度 計画内容				平成20年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額(千円)												
委託	⇔	報償費			418	報償費			424	報償費			404	報償費			404
		需用費			15	需用費			7	需用費			15	需用費			15
工事	⇔	事業内容															
進捗率(%)		事業費計(A)				事業費計(A)				事業費計(A)				事業費計(A)			
		433				431				419				419			
事業投入人員		人件費(B)	0.5	人	3,600												
フルコスト(A)+(B)		4,033				4,031				4,019				4,019			

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	433	431	419	419
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	96	96	96	96
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
	一般財源	337	335	323	323
	計	433	431	419	419
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	隣保館運営費補助金	隣保館運営費補助金	隣保館運営費補助金	隣保館運営費補助金